



発行：姫路獨協大学総務部

〒670-8524 兵庫県姫路市上大野7-2-1

TEL 0792-23-2211(代)

FAX 0792-85-0352

URL <http://www.himeji-du.ac.jp>

発行日 2005年(平成17年)7月



言語聴覚療法学科



理学療法学科



臨床工学科



作業療法学科

姫路獨協大学が2006年4月に開設予定の医療保健学部は、21世紀の超高齢化社会における地域医療や在宅リハビリテーションの中核を担う専門医療技術者の養成をめざしています。理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚療法学科、医療こども学科、臨床工学科の5学科を設置します。地域の医療の担い手として期待されるリハビリテーションなどの医療技術者のほか、医療こども学科では様々なケアを必要とする子どもへの発達支援の教育専門家など新しい時代のチーム医療を担うスペシャリストも養成します。

地域医療時代に求められる  
多様な医療スペシャリスト

平成17年6月30日、文部科学省に医療保健学部の設置認可申請を行いました。

# 平成18年4月医療保健学部開設予定

— 理学療法・作業療法・言語聴覚療法・医療こども・臨床工学科 —

(設置認可申請中)



医療こども学科

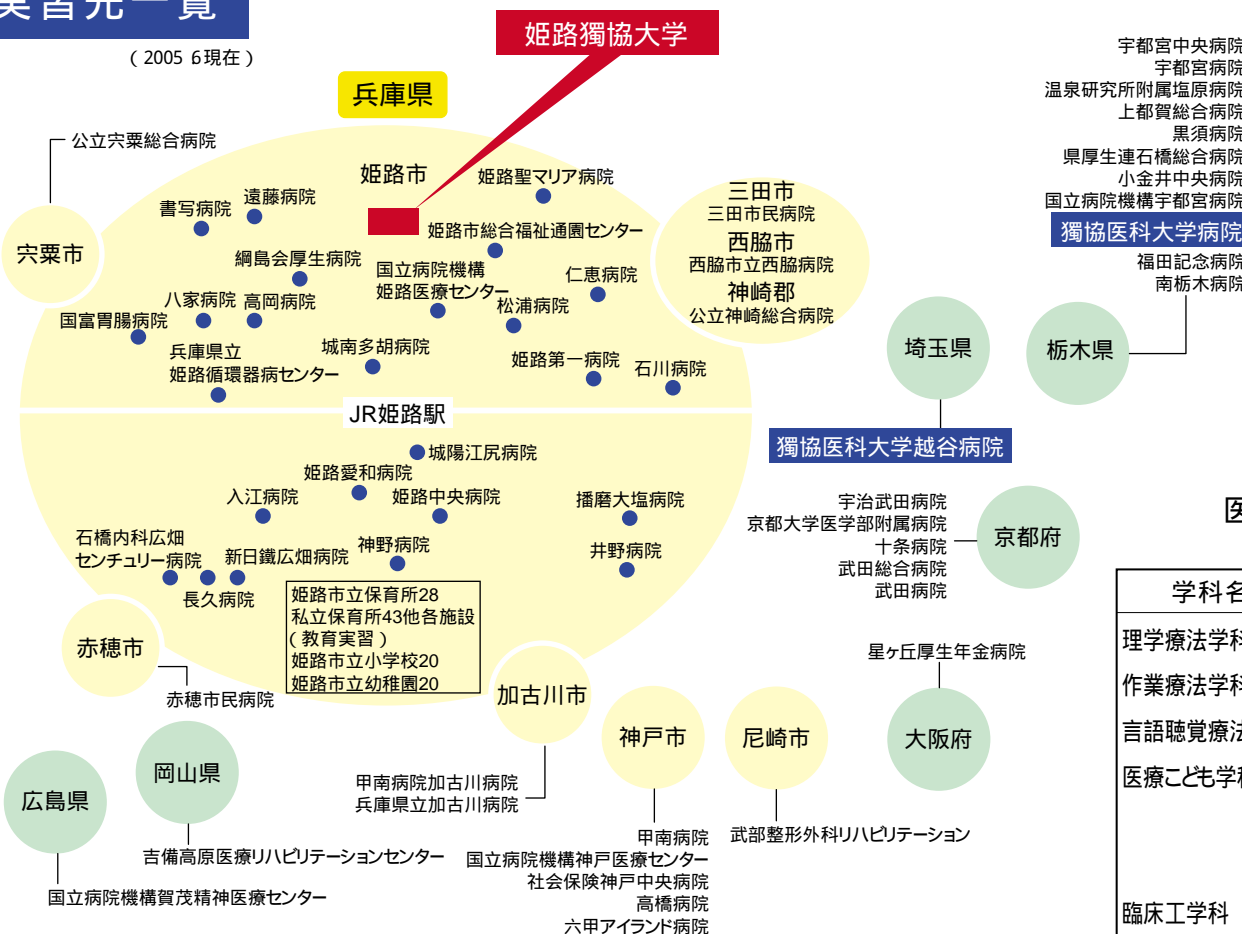
「公私協力方式」の大学だから実現する  
充実した実習

全国で初めて、公私協力方式によって開設された本学は、姫路市との連携を強めながら、独自の教育・研究環境を築き上げてきた地元密着型の大学です。このため、姫路市をはじめ周辺の多数の医療機関や保育所、児童養護施設などで充実した臨床実習を行うことができます。

また、本学と同じ獨協学園グループである獨協医科大学の大学附属病院及び越谷病院での実習も予定しております。医療保健学部は、この獨協医科大学からこの他講義等で全面的な支援を受けます。

## 実習先一覧

(2005.6現在)



## 医療保健学部の概要

(設置認可申請中)

学科名	入学生員	資格等
理学療法学科	40	理学療法士
作業療法学科	40	作業療法士
言語聴覚療法学科	20	言語聴覚士
医療こども学科	70	養護教諭1種免許状 幼稚園教諭1種免許状 保育士
臨床工学科	40	臨床工学技士

うち20人は2年次編入定員

# 法科大学院

## 新司法試験とは?

弁護士、検察官又は裁判官になろうとする者に必要な学識及びその応用能力を備えているかどうかを判定する試験であり、法科大学院における教育及び司法修習生の修習との有機的連携の下に行われます。法科大学院を修了すると、この司法試験の受験資格が認められます。試験は、短答式と論文式による筆記の方法により行われます。短答式試験と論文式試験は同時期(5月頃)に行われる予定であり、受験者全員が両方の試験を受けることになり



法務研究科長 浦東久男

ます。8月末か9月初めに合格発表が行われる予定です。新しい司法試験は、平成18年の5月から始まり、平成16年と平成17年をきりましたが、本学の法科大学院では、平成16年4月に入学した既修者8名の諸君が受験にむけて準備をしています。将来について大いに期待しています。

## 法科大学院 無料法律相談

姫路獨協大学法科大学院で、実務家教員(弁護士)が無料で法律相談をいたします。法科大学院の授業「リーガル・クリニック」としての実施ですので、院生も同席いたします。もちろんご相談内容につきましては秘密を厳守いたします。

なお、完全予約制となっておりますので、必ず事前にお電話でお申し込みください。

【日時】平成17年10月5日(水)  
10月19日(水)・11月2日(水)  
11月16日(水)・11月30日(水)  
12月14日(水)  
平成18年1月11日(水)・1月18日(水)  
相談時間：午後6時30分開始で、1日3件を予定しています。  
【場所】姫路獨協大学 リーガル・クリニック室 (本部棟西館4階)

【申込み】平成17年9月12日(月)より受付開始 (希望日時をお申し出ください。先着順です。)

申込先：姫路獨協大学 大学院課  
電話：0792-23-9159(担当：中山・藤原)

受付時間：月～金(午前9時～午後5時)  
ただし祝日を除く

税務相談、係争中の事件で弁護士に依頼されている事件につきましてはお受けできませんので、ご了承ください。

## 平成16年度施設設備費について

学生の皆さんからお預かりしています施設設備費(年額15万円)についてご説明致します。文部科学大臣が定めた学校法人会計基準により、施設設備資金とは「施設拡充費その他施設・設備の拡充等のための資金として徴収する収入をいう」と定義されています。ここで言う施設とは、土地や建物、構築物(野球場、サッカーグラウンド、テニスコート、学生駐車場、駐輪場など)であり、設備とは図書並びにパソコン、机等の機器備品を言います。また、拡充等とは施設・設備を買い揃えるための経費及びそれらの設備を利用し、教育研究するための経費や設備を最善の状態に維持したり修繕したりする経費(維持管理費)のことで、

したがって、施設設備費とは、在学している皆さんが、豊かで有意義な大学生活を送るための経費であるとともに、将来入学する後輩達の学習環境を整備していく経費でもあることをご理解ください。

なお、平成16年度における施設設備資金に係る収支状況は次のとおりです。

(収入)		(支出)	
施設設備資金	509百万円	維持管理経費	184百万円
		コンピュータリース・保守	41百万円
		LL機器保守	2百万円
		その他(エレベーター保守等)	141百万円
		施設設備関係	479百万円
		学校用地取得他	388百万円
		図書館改修工事	3百万円
		LL教室・コンピュータ室	
		及び西館自習室監視カメラ設置	9百万円
		受水槽ポンプ他取替	4百万円
		講義棟渡り廊下改修工事	3百万円
		図書館3階及び401D空調改修工事	12百万円
		自動証明書発行機	8百万円
		法務研究科用AV機器及び什器	6百万円
		図書(雑誌除く)	37百万円
		その他	
		(グランドネット取替・パソコン等)	9百万円
収入合計	509百万円	支出合計	663百万円

## 第1回「女子学生就職ガイダンス」開催!!

6月4日(土)13時より、本学では初めての試みである就職希望の3年次生の女子学生を対象とした就職ガイダンスを開催しました。予想を上回る93名(外58名、法20名、経15名)の学生が参加し、女子学生の就職に対する関心の高さが伺えました。ガイダンスの内容は、『女子学生のための採用活動の現状と就職活動の留意点』というテーマで、『働く女性の現状 改正男女雇用機会均等法、キャリアデザインという視点 就職活動スケジュール』

の時期にすべきこと』を中心にガイダンスし、女子学生と男子学生との就職活動に差はないが、男子学生以上に人生の転機について考えることが大切です。と講師の方が訴えられました。次回、第2回は、『女子学生のための、就職活動実践講座』というテーマで、10月1日(土)を予定しています。多数の学生の皆さんが、就職活動



に備えて参加されることを期待しています。

## キャリア開発センターからのお知らせ

### 3年次生対象

#### 就職模擬試験対策講座

開催日：8月3日(水)～6日(土)の4日間  
開催時間：各日とも10:30～12:00  
13:00～14:30  
14:40～16:10

開催場所：208B教室

開催目的：3年次生の夏から筆記試験突破のための基礎を養い、効率的な対策が取れるようにするため

参加費：無料

#### 第3回 就職ガイダンス

開催日：9月22日(木)  
開催時間：10:30～12:00 英語、経済情報、経営情報学科  
13:00～14:30 ドイツ、中国、日本、国際文化、法律学科  
開催場所：222D教室  
講義内容：自己分析講座 - 自分を知り、自分を伝えるための準備  
自己分析の目的  
自己分析はどのように役立つか  
自己分析は具体的にどんな方法があるか  
自己分析の実習

### 3年次生 女子学生対象

#### メイクアップ講座&第2回 女子学生対象 就職ガイダンス

開催日：10月1日(土)  
開催時間：10:30～12:00 メイクアップ講座  
13:00～14:30 就職ガイダンス  
開催場所：221C教室

### 4年次生対象

#### 第3回 学内企業セミナー(予定)

開催日：9月29日(木)・30日(金)  
開催時間：10:30～15:30  
開催場所：本部棟西館 5階会議室

### 中国四国地区父母対象

#### 父母就職懇談会(岡山会場)

開催日：9月24日(土)  
開催時間：13:00～17:00  
開催場所：ラヴィール岡山

韓国語学科の魅力とは？  
 韓国語は、日本語と同じ語順なので、日本語母語話者にとって学び易い言語です。また、ほとんどの人が大学に入ってから学び始めるので、皆の出発点が同じで新しい言語という新鮮さも加わり、やりがいがある語学だと思います。

外国語学部韓国語学科  
 文 春琴教授(研究室708)  
 姫路獨協大学に韓国語学科が新設されてはや3ヶ月を過ぎました。今回は韓国語学科の文春琴先生にお話を伺いました。文先生は「マン・ヨンハセム(こんにちは)」と明るく私たちを迎えてくださいました。

### 研究室訪問

韓国語を学ぶ上でのコツは？  
 何事でも同じですが、欲張らず、自分のペース・スタイルで学んでいくこと、失敗を恐れないうこと、その国の文化に対する興味と、自分の趣味などを合わせて楽しみを見つけていくことです。韓国は身近な国なので旅行も行き易く、またこの大学には韓国からの留学生も多く在籍しています。学んだことを実践し、韓国の空気も感じ易い環境が整っているので絶好の機会だと思います。

最後に、明るく取材に答えてくださった文先生から一言！  
 これからも一つ一言語を学び始めようと思っている人には、韓国語はとても適した言語です。皆さんもぜひ挑戦してみてください。



ぶん しゅんきん  
 (オフィスアワー 火・木)  
 担当科目=韓国語(初級)言語と言語文化 ほか

今回の取材で、文先生の姫路獨協大学に対する思いや韓国に対する思いを感じることが出来ました。文先生、どうも有難うございました。  
 学生編集スタッフ  
 村崎 愛(日・3)  
 平 果奈(日・3)

## トライやる・ウィーク

6月13日(月)から6月17日(金)までの5日間、広嶺中学校の2年生8名が本学において、地域における体験活動「トライやる・ウィーク」を行いました。大学事務体験で各課の業務を体験したり、学内美化清掃を行ったり、学生に混じっての体育の授業や、特別プログラムの英語や韓国語の授業を受けるなど、盛りだくさんのプログラムをこなしました。また、毎日、パソコンと向き合って中学校の先生に写真付きの報告メールを送信する作業などにも真剣に取り組むことができました。プロジェクト・ワークでは、中学生1人ひとりが学内を歩き回り、大学生の実態調査を行いました。2グループで、2つのテーマ「学生生活について」、「学生の将来の夢」について、それぞれ本学の学生約100名に対し、積極的にアンケート調査を行いました。



「学生の将来の夢」	「学生生活について」
中学生の時になりたかった職業は何？ 教師 警察官 通訳 看護師	休日は何をして過ごしていますか？ 音楽を聴く 映画鑑賞 野球 ギター
いま、就きたい職業は何？ 教師 警察官 公務員、弁護士	大学に入って良かったことは？ 新しい友達、知り合いができたこと 少し自立できたこと 親元を離れたこと 痩せられたこと
なぜ、その職業に就きたいのですか？ 自分のやりたいことが活かせる 人の役に立ちたい 収入が安定している(良い)	食堂のメニューで好きなものは？ 定食C カツ丼 カレーライス うどん
大学生になって良かったと思う？ 良かった(90%) 良くなかった(7%) その他(3%)	大学に設置してほしい施設は？ プール ファーストフード店 駐車場 ロッカー

中学生からのコメント  
 大学生の皆さん、やさしく協力してくれて、本当にありがとうございました。

まず初めに姫友戦を無事終えたのは、ひとえに協賛してくださった会社、地域の人々、大学職員の方々、各部活動の皆さん、そして私を支えてくれた姫友戦スタッフのおかげです。本当にありがとうございました。  
 6月11・12日、姫友戦が行われました。「姫友戦」とは姫路市とその周辺にある4つの大学(兵庫東立大学・姫路獨協大学・近畿福祉大学及び関西福祉大学)の学生達によるスポーツ競技大会のことです。今回の姫友戦は我が校が主幹で去年の夏から準備を進めましたが、4大学の意見をまとめることは容易でなく、意見の食い違いからぶつかることもありましたが、大会1週間前は皆が自分の部門のことに必死でバラバラにならないか心配したり、前日の準備でスタッフに遅く

まで手伝ってもらうことになり、私達は詰めめの甘さを痛感しました。当日は行事をこなす大変さを実感。疲れ果てて迎えた2日目の準備であきらめかけていた私たちは、他大学の熱い気持ちを知り、全ての行程を終え「お疲れ様でした、ありがとうございました」と笑顔で言うつもりでしたが、込み上げる熱い涙で感謝の気持ちの10分の1も話せなかつたと思います。そんな私にスタッフは「がんばれ」と励ましてくれました。

## 姫友戦を終えて

今年、我が校は惜しくも白鷺杯を逃しましたが、来年の姫友戦での活躍に期待しています。大会に関して反省点は色々ありますが、今回失敗した点、成功した点、改善点を4年後主幹となる後輩達に残していきたいです。また来年主幹となる兵庫東立大学の成功を願っています。  
 体育会副委員長 内山 尚美法(3)

今年、我が校は惜しくも白鷺杯を逃しましたが、来年の姫友戦での活躍に期待しています。大会に関して反省点は色々ありますが、今回失敗した点、成功した点、改善点を4年後主幹となる後輩達に残していきたいです。また来年主幹となる兵庫東立大学の成功を願っています。  
 体育会副委員長 内山 尚美法(3)

今年、我が校は惜しくも白鷺杯を逃しましたが、来年の姫友戦での活躍に期待しています。大会に関して反省点は色々ありますが、今回失敗した点、成功した点、改善点を4年後主幹となる後輩達に残していきたいです。また来年主幹となる兵庫東立大学の成功を願っています。  
 体育会副委員長 内山 尚美法(3)

## 神戸まつり 新開地パレードに参加して



5月15日(日)、韓国語学科1年生9名が、『第35回神戸まつり』の「新開地パレード」に参加しました。パレードでは昔朝鮮通信使が来たときに通ったという道を朝鮮の民族衣装を着て歩きました。着る物は流行に合わせて形を変えつつありますが、韓服(ハンボク)は今もそのままの形で残っていました。チマチョゴリを一度着てみたいという気持ちで参加しましたが、在日朝鮮人の方々から、「愛国心」や「誇り」、「美意識」というものが伝わってきました。当時の通信使の疑似体験ができたことは貴重な経験で、いつの間にか朝鮮と日本の関係について、もっと踏み込んで考えようと思うようになりました。今回パレードに参加したことで、韓国と日本のつながりの深さ、大切さを普段の勉強とは違った形で学ぶことが出来ました。来年も参加して新しい発見をしていきたいと思えます。



韓国語学科1年 石塚 由佳  
 原谷 真以  
 藤原 友美

### MESSAGE BOARD

教務課より  
 前期定期試験日程  
 7/23(土)~8/5(金)前期定期試験  
 試験の際には学生証を必ず携帯してください。  
 集中講義について  
 集中講義を履修している学生は、日程が変更になる場合がありますので、掲示板を必ず見るようにしてください。  
 夏季休業期間について  
 8月11日(木)~18日(木)は夏季休業期間のため窓口業務は行いません。  
 後期履修登録期間の変更について  
 後期履修登録期間は9月26日(月)~10月3日(月)となります。9月下旬にガイダンスを予定していますので、その際に「履修届・受験届」を受け取ってください。なお、「履修届・受験届」を取りに来ないと後期の履修登録はできませんので注意してください。

会計課より  
 平成17年度後期学費納入について(お知らせ)  
 平成17年度の後期学費納入については下記のとおりになっていますので承知おきください。  
 記  
 自動振替契約者の皆さん  
 平成17年8月下旬頃、「口座自動振替のご案内」をお送りします。  
 引き落とし日は、平成17年9月12日(月)です。  
 上記以外の皆さん  
 平成17年8月下旬頃、「学費納入通知書」をお送りします。  
 振込期限は、平成17年9月30日(金)です。  
 【注意】  
 後期から休学、退学をする場合は、9月28日(金)までに「休学願」または「退学願」を教務課宛に提出してください。期限までに提出がない場合には学費は全額納入して頂くこととなります。

図書館より  
 長期特別貸出について  
 7月28日(木)~9月10日(土)の期間に実施します。  
 冊数(図書)10冊まで。【返却期限:9月26日(月)まで】  
 夏期休業中の開館について  
 休館日は次のとおりです。  
 8月11日(木)~8月18日(木)  
 9月12日(月)~9月17日(土)  
 上記以外に長時間短縮日がありますので掲示板で確認してください。  
 健康管理室より  
 整形外科の診察について  
 次のとおり医師が来学しますので、相談及び診察を希望する学生は健康管理室まで来てください。  
 診察日:10月20日(木)  
 14時30分~16時30分まで(受付は16時15分まで)



# 釜本サッカー教室開催



姫路獨協大学サッカー部と姫路市サッカー協会が企画し、3月に完成した人工芝グラウンドで7月3日(日)、サッカー元日本代表FWの釜本邦茂さんによるサッカー教室が行われました。雨にも関わらず、小学生約200人が芝生の上を駆け回りました。釜本さんは時折ボールを触りながらドリブル、パスなどの基本技術を伝授されました。サッカー部主務の澤 仁さん(国・3)は、「参加したたくさんの小学生たちには、釜本さんとのいい思い出になったと思います。僕たちもそのお手伝いを出来たことで、とても嬉しく思っています」と話してくれました。人工芝グラウンドはすでに西播地域の選抜チーム選考会やのしぎく兵庫国体の強化合宿などにも利用されています。

## 第12回 国際学生シンポジウム『地球を守ろう』



国際学生シンポジウムは日本語学科主催で1994年に第1回が開催され、毎年、主に1年次留学生および日本人学生が参加して催されます。

今年は6月29日(水)に「地球を守ろう」というテーマで行いました。第12回ということにより充実した内容にするため、留学生の皆さんとスタッフ一同頑張りました。「地球を守ろう」という題で各国の留学生の母語でなく、日本語で「温暖化」「大気汚染」「砂漠化」「エネルギー」など、いろいろな問題を取り上げスピーチしました。また、美しい音色のピアノ・フルードによる「もののけ姫」の演奏もあり、会場は一体感で盛り上がり、満員で立ち見が出るほどでした。

このように、いろいろな国から日本に来て、日本語を勉強している留学生がたくさんいます。シンポジウムを通して、いろいろな国のことを知ることができました。このシンポジウムは来年も行います。是非多くの方に、積極的に参加して頂けることを願っています!

国際文化コミュニケーション専攻3年 濱本 祥行  
日本語学科3年 丁 雪静



スピーチ「もったいない!!地球に優しく」



国際化に協力するため、受け入れたものです。午前は弓道部を見学、弓引き、弓道着の試着体験等

本学では6月22日(日)に財姫路市国際交流協会が実施している青少年交流事業により、フェニックス市から来日した8名の高校生を迎えました。この事業は、毎年姫路市の海外姉妹都市と中・高校生の相互派遣を行い、ホームステイをしながら公式行事等の様々な交流活動に参加することにより、次代を担う青少年の国際的視野を拓き、相互理解を図ることが主な目的です。本学も地域の

英語特別履修コース2年 松田 美雪  
私のクラスでは日米間の文化・礼儀を学んでいるので、彼らとお互いの文化などを話し合いました。いくつか話し合った中で彼らもとても興味を示したのが、日本人が自

をしました。午後から英語特別履修コースの授業に参加、その後茶道部を見学、茶道体験をしました。弓道部、茶道部での体験はフェニックス市の高校生にとってたいへん興味深いものだったようです。



人とは比べたりもしないよと教えてくれました。他にもいろいろな話題について話し、異文化交流によってさらに世界を広めていくことができました。また機会があれば、彼らと話してみたいです。

分の夫、妻のことを卑下して他人に伝えるということですが、彼らはすごくびっくりし、シヨクを受けたいで、アメリカ人とは全く逆だね。自分の妻、夫のことを悪く言わないし、他の



# HDU留学体験記

今回は、2004年3月から12月まで、ドイツのライプツィヒ大学等へ留学した学生の体験記を紹介します。



## 「満喫したライプツィヒでの留学生活」

ドイツ語学科 2002年3月卒業  
言語教育研究科 2005年3月修了 吉田 奈津子



私は、2004年3月から10ヶ月間、本学から初めてのドイツ長期派遣留学生としてライプツィヒ(Leipzig)で留学生活を送りました。ライプツィヒは旧東ドイツ地域では首都ベルリンに次ぐ大都市で、ドイツで2番目に古い大学のある街でもあります。姫路市とほぼ同じ人口のこの街には学生を始めとしたたくさんの外国人が住んでいて、中でも東欧諸国、アジア、アフリカ出身者が多く、自分が外国人であることを忘れてしまいそうになるほどでした。

私の派遣先はライプツィヒ大学ヘルダー研究所インターダフという大学付属の語学学校でした。ここには、ドイツの大学で勉強するのに必要なドイツ語能力を養い、大学入学が認められるDSH試験合格を目指す外国人が集まっています。私は留学期間中に、初級コース、サマーコース、そしてDSH試験の準備コースとなる中級コースに参加しました。初級、中級コースにはアジア、アフリカからの学生が多いのですが、サマーコースではヨーロッパやアメリカの学生とも知り合うことができ、10ヶ月間で本当に多くの外国事情を知ることができました。そんな学校の授業の中で思い出に残っていることが3つあります。1つは「先生役」をしたこと。私のドイツ語学習歴はクラスで一番長く、また文法の知識量だけは誰にも負けなかったため、授業中や友達と一緒に勉強する時などは、よく先生役をやっていました。このことは、日本語では十分に理解している文法でも、ドイツ語ではどう説明すれば理解してもらえるのかということを考える良いきっかけになりました。2つ目は、大学のゼミ演習を想定して課されたプレゼンテーション。私は本の街としてのライプツィヒの紹介と日本とドイツの本の比較について発表しました。発表前には本に関する博物館を訪れ、図書館やインターネットでも情報を集め、話す内容や流れを組み立てました。自分の発表はもちろんのこと、クラスメートの発表を聞くことも勉強のひとつになりました。そして最後は、夏に参加したサマーコース最終日に、修了式を兼ねた発表会で司会をしたこと。ドイツ到着当初は引っ込み思案に思われていた私でしたが、机上の勉強以外のコミュニケーションが重要視されたサマーコースに参加するようになってからは、ドイツ語力不足を気にせず、授業でも休み時間でも積極的に話すことができ、先生方がそんな私を司会進行役に推薦してくださったのです。それまで、しゃべれない自分に苛立ったこともあったので、その日の司会を無事終えた時には、ホッとした

と同時にまた1つ自信がついたと思いました。

午前中の授業が終わると学校から歩いて街中へ出かけるのが私の日課でした。ライプツィヒでは年中様々なメッセが開催され、クリスマスマーケットを始めとする季節感溢れるマーケットも度々開かれるので、変化に富んだ日々を過ごすことができました。また、ライプツィヒ周辺には文豪ゲーテや宗教改革者マルティン・ルターゆかりの地が点在しているので、授業の合間を縫って、日帰り旅行もよかったです。

私の留学生活の中でなくてはならない存在はレネー(Rene)でした。彼は、ライプツィヒ大学で日本語と中国語を専攻するドイツ人学生で、10ヶ月間、タンデムパートナーとして私のドイツ語学習の手助けをしてくれました。タンデム(Tandem)とは、お互いにそれぞれの母国語を教え、学び合うという勉強スタイルです。彼とはタンデムパートナー以上の親友にもなり、私たちの勉強場所だった大学の空き教室では旧東ドイツ時代の話も含め、いろんな話をしました。留学以前は、言葉の微妙なニュアンスが分からないことがよくありましたが、今回の留学で、語学学校の先生方やレネーをはじめとする友達とコミュニケーションするうちに、少しはドイツ語が「自分の言葉」になったような気がします。

留学の主な目的は、自分の研究にも必要不可欠だったドイツ語の総合的能力の向上でしたが、学部時代の語学研修旅行で知り合った人たちとの再会も楽しみにしていたことでした。夏休みを利用して当時の語学学校の先生とホームステイ先の家族のもとを訪れ、それぞれ1週間ほど滞在してきました。一方は小麦を栽培している家庭、もう一方はワイン畑のある村に住む一家。特に、ホームステイ先の家族は今や私の第2の我が家となりました。

ドイツ語学科の先生方は、お気に入りの街や食べ物のこと、またそれぞれの興味ある分野をいつも楽しそうに話してくださいました。それら全部を自分の目と体で実感したいという思いが強くなった頃に、この長期留学制度が整い、私が行かせて頂けることになりました。今回私が留学できたのも、ひとえにドイツ語学科の先生方、そして私のわがままを聞いてくれた両親のおかげです。本当にありがとうございました。2005/2006年は「日本におけるドイツ年」で、ドイツを紹介する様々な催しが実施、企画されています。また2006年のサッカーW杯がドイツで開催されることもあり、日本でドイツのことを耳にすることが多くなってきました。私自身は今後もドイツ語の勉強を続け、より多くの方にドイツとドイツ語のことを知ってもらえるような取り組みができればと考えています。

